

クマの住む山に入る時の約束事

—クマに出あわないために—

● 出没情報に注意!

山に入る時は、クマの出没情報に気を付け、危ない場所には近づかないのが一番です。

● 音で知らせよう!

山に入る時は、鈴をつけたり、ラジオをつけるなど、とにかく音を出して、クマにこちらの存在を知らせましょう。

● クマの糞や足跡を見つけたら!

近くにクマがいる可能性があるので、すみやかに引き返しましょう。

● 早朝や夕方に注意!

クマと出会う可能性が高いのは、早朝や夕方です。細心の注意を払いましょう。

● ゴミはクマをおびきよせます!

残飯や生ゴミは、クマの餌になります。味を覚えると、繰り返して出てきて、人家近くに居着いてしまう例があります。

山やキャンプ地などのゴミは放置せず、必ず持って帰りましょう。

もし、クマを見かけたら、最寄りの市町村役場か、県民局森林企画課・地域事務所地域森林課に御連絡ください。



落ち着いて 行動することが大切です。

! 遠くにクマを見つけたら…

静かにその場を離れましょう。



! クマがこちらに気付いたら…

落ち着いて静かにしていれば、ほとんどの場合、クマは立ち去ります。



! クマが近づいてきたら…

クマの動きに注意しながら、背中を見せないよう、ゆっくりと後退して下さい。大声や石投げは、クマを刺激して危険です。リュックサックなどの持ち物を置いてクマの気をそらすと時間が稼げます。

! 子グマを見かけたら…

子グマのそばには、必ず母グマがいます。近づくと大変危険ですので、静かにその場を離れましょう。

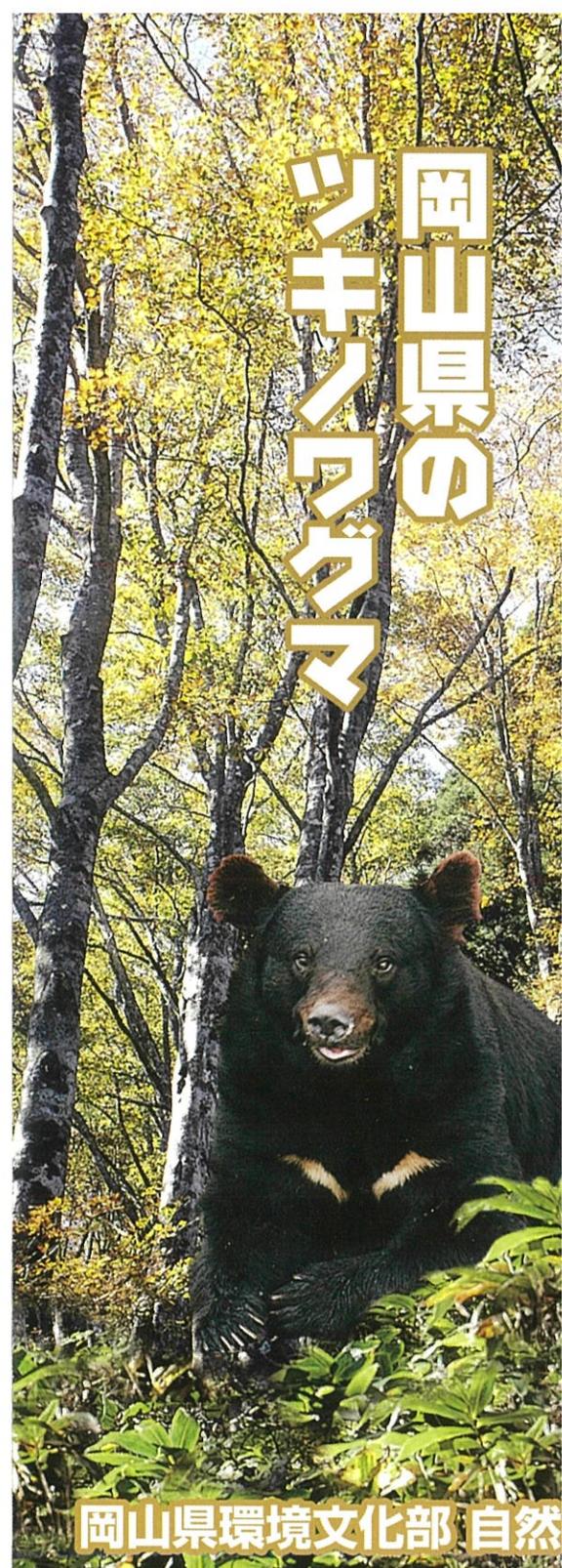


! 万一、クマに襲われたら…



地面に伏せて身を守る姿勢をとりましょう。中途半端な反撃はかえって危険です。

岡山県の
ツキノワグマ



岡山県環境文化部 自然

山県のツキノワグマ

山形県及び鳥取県にまたがる東中国地域に生息するツキノワグマは、環境省のレッドリストに「絶滅の恐れのある地域個体群」として位置付けられています。

平成12年度から狩猟による捕獲を禁止するな取組を進めてきました。その結果、生息数は増えています。近年、人里への出没が増加して

平成29年度からは第5期ツキノワグマ保護計画が策定され、狩猟を一部解禁するなど、人とツキノワグマの共存の実現を目指した取組を進めています。

近年ツキノワグマの出没が確認された地域



ツキノワグマの特徴

- 分布 …………… 本州・四国・九州
- 身長 …………… 110～130cm
- 体重 …………… 50～120kg
- 見方 …………… あまり良くない
- 聴力・嗅覚 …………… 非常に優れている
- 走る速度 …………… 人間よりずっと速い
- 得意な運動 …………… 木登り、水泳

ツキノワグマの生活

冬

行動範囲は約7km
オスの方が広く動き、大人になると7km四方をテリトリーに行動します。



1月頃から3月頃にかけて冬眠します。妊娠したメスは冬眠中に1～2頭の子供を産みます。

冬眠穴

活動するのは？
一日のうち、もっとも活発に活動するのは夕暮れ時から早朝にかけてで、エサ探しに夢中です。

秋



クマ糞

秋になると冬眠に備えて食欲が旺盛になり、ドングリなどの木の実はたくさん食べます。



豊かな自然の残る落葉広葉樹林が本来のクマのすみかです。

春



子グマは1歳半から2歳半になるまで母グマと一緒にいます。



フキノトウ



スズノコ

アリ



サワガニ

食べ物は植物中心
好物は木の果・果実や山菜などです。季節に応じて食べる物が変わり、夏は昆虫やサワガニも食べます。



キイチゴ



ハチミツ・昆虫

6月～7月頃が繁殖期です。

夏

気をつけよう！
山菜の多い場所にはクマもいることが多いので、音を出しながら歩くようにしましょう。